

防災キャンプ

1月23日、拳ノ川小学校と合同で防災キャンプをしました。土砂災害の基そのな学習の他に、3Dシアター、食用油の灯りづくり、砂防ダムの効果について知る模型、降雨の体験をしました。

今までも防災学習を積み重ねてきたので、復習になったこともたくさんありましたが、こんな体験をしたのは初めてでした。

特に、印象に残ったのは降雨体験で、日本一の180mmの大雨が体感できるものでした。数時間で足元にプールができそうなほどの大雨でした。本当の雨なら、これに強風も加わり、全身にパチパチ雨粒が当たって痛くなってしまいうらうと思えました。



今回の体験で、いままで学習してきた頭で分かっていたことが、少しでも実感に近づけたと思います。これからは、災害が起きて冷静に行動できるようにしたいです。

(伊与喜小学校 6年 市川 裕真)

ぼくたちの「サーグルグル」

総合的な学習の時間で「サーグルグル」のページを作っています。「サーグルグル」とは、佐賀のことを探れる・魅力を知ることができるものです。

まず、ぼくたちが佐賀をもっと知るために特産物などを調べてみました。ぼくは、佐賀のことは知っていると思っていたけど、あまり深く知らなかったことが分かりました。(有)土佐佐賀産直出荷組合や渡辺さんのみかん作りや高知県漁業協同組合佐賀支所や黒潮一番館、土佐・佐賀くろしお工房について調べていくうちに、もつとくわしく知りたいと興味が出てきました。ぼくたちが調べたのは、その中のいくつかですが、調べて行くと、佐賀にはいろいろな産業があって、それはいろいろな人達の思いが詰まっていることがわかりました。

3学期には、学校のホームページにつなげて佐賀を好きになってもらいたいと、みんなで作っています。もし誰かが「佐賀」って調べたら、ぼくたちのページが出てきて、こんないい所があるんだという風に役に立ってほしいです。完成したらみなさんも佐賀小学校のホームページを見てください。(ホームページ)



(佐賀小学校 5年 矢野 瑛十)

佐賀のひなんタワー

みなさん、黒潮町の佐賀地区のひなんタワーを知っていますか。

佐賀地区のひなんタワーは、黒潮町で一番新しいもので、一番高いひなんタワーです。黒潮町には6つのひなんタワーがあります。大方地区に4つ、佐賀地区に2つといういろいろな場所にあります。

タワーは、そう定しん水域より、4メートルよりゆうをもつてつくられています。ひなんタワーにのぼってみて、高さやこうぞうがわかりました。高すぎてびっくりしました。8階から階段をながめたら、すごく高かったです。そして、8階には、雨の日でも過ごすことができる部屋があります。



りもできるようになっていて、すごいです。佐賀に行ったときに何か起こったら、すぐにこのひなんタワーに、にげたいです。

(入野小学校 3年 柿内 惺成・松岡 綺星)